

(様式1)

令和6年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 004	提案機関名 神奈川県 いのち・未来戦略本部室
要望問題名	炭酸水素カルシウムのナノ構造体水溶液のバイオスティミュラント効果の評価
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】	<p>県は、令和4年12月に「第7期 神奈川県科学技術政策大綱」を策定し、科学技術によるイノベーションにより、社会課題の解決に挑戦し、持続可能な未来社会を切り開き、科学技術の成果を地域社会に展開し県民に届けていくことを目指しています。</p> <p>こうしたなか、本県における有機農業推進のため、令和5年度には、県農業技術センターにおいて、新規の天然資材等のバイオスティミュラント効果（植物本来の生命力を向上させる効果）の評価手法の研究開発を実施していただいています。</p> <p>令和6年度からは、令和5年度の研究開発を踏まえ、農業分野のみならず、水産分野や環境保全分野においても、バイオスティミュラント効果の可能性を探索するため、農業技術センター・水産技術センター・自然環境保全センターの3つの県試験研究機関において、具体的な天然資材として炭酸水素カルシウムのナノ構造体水溶液を用いて、そのバイオスティミュラント効果の評価を実施することを要望します。</p>
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター 水産技術センター 自然環境保全センター	担当部所	生産環境部 企画研究部 研究企画部
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) (農技) III 1 (1) 農業生産の環境負荷を軽減するための技術開発 エ 堆肥等有機物・新規資材の病虫害防除効果の評価と有効利用方法の検討 (水技) 藻場再生技術高度化試験		
対応の内容等	<p>農業技術センターでは、化学農薬や化学肥料の使用量の低減、有機農業を推進するため、地域内流通する堆肥等有機物や新規資材が作物に病虫害耐性や抵抗性を誘導するか検討しています。</p> <p>ご要望の資材についても効果を検証し、病虫害防除効果が見つかった場合は効果的な使用法を検討し、その後、評価手法の研究開発を行いたいと考えています。</p> <p>水産技術センターでは、炭酸水素カルシウムの海藻の生育を促進する効果を、令和5年度に水槽実験と現場海域における設置試験を行い確認中です。効果の判定は、海藻の着生や成長で行います。これ以外の効果の評価や原理の解明については、当所で明らかにできるだけの知見や技術がないためできません。</p> <p>自然環境保全センターは、収穫期間が長く生産のコントロールの困難な林木では、バイオスティミュラント効果の発揮は限定的になると考えられます。苗木生産等、短期的に活用可能な技術があれば検討してまいります。調査指導対応とします。</p>		
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			